



地方政治クリエイト 伊藤秀昭

新城市生まれで、豊橋市で育った太田昭宏氏が安倍第二次内閣の国土交通大臣に就任した。この地域の関係者としては、村田敬次郎氏が92年12月成立の宮沢内閣で、自治大臣兼国家公務員長に就任してから20年ぶりのことである。

■徹して現場

太田氏は、今回の衆議院選挙で東京12区(東京都北足立区の一部)から出

馬し、6回目の当選を果たした。

09年8月の衆院選で「公明党代表選」という前代未聞の苦杯をなめて、党代表も辞す。あれから3年3ヶ月、地域の中へ、市民の中へ、生活の中へ徹底して入り込んだ。

そして、全国を回

新城市生まれで、豊橋市で育った太田昭宏氏が安倍第二次内閣の国土交通大臣に就任した。

馬し、6回目の当選を果たした。

09年8月の衆院選で「公明党代表選」

という前代未聞の苦

杯をなめて、党代表

も辞す。あれから3

年3ヶ月、地域の中

へ、市民の中へ、生

活の中へ徹底して入

り込んだ。

そして、全国を回

新城生まれ、豊橋育ち

(上)

太田国交大臣が誕生

オ」と国を動かした太田氏の奮闘があつた。(昨年8月、豊橋での産学官交流サロ

から切実な訴えを聞きました。現場は船も港も街も復興どころか、復旧もまま

たたいた。胸がいつ

ぱいです」とは、当

選時の第一声。

■カツオが揚がっ

た。

特に3・11大震災後の東北へも、多くの人に支えていた

ただいた。胸がいつ

ぱいです」とは、当

選時の第一声。

■カツオが揚がっ

た。

つけた気仙沼漁港に力を発揮がつたといふニュースが大きく流れた。

その陰に気仙沼漁港

で、壊滅的打撃を受

った。

ついで、今年も

101本の夏みかん

なると一家で豊橋へ

戻り、東田小学校へ

転校。家の前が青陵

街道で、まだ舗装が

されていなかつた砂

利道で野球をやつて

遊んだという。

「中学校時代には、

政治家が新聞記者になろうと思つてい

た」という。

■夏みかん並木

中学三年、生徒会

長の時、大火に見舞

われた飯田のまちに

なろうと思つてい

た」という。

■夏みかん並木

中学三年、生徒会

長の時、大火に見舞

われた飯田のまちに

が「りんご並木」を作

りた。彼の学校を愛す

に、教職員も動い

て、何度も県や、市

や警察に交渉を行つ

た。彼の学校を愛す

が夏みかん並木と

なつた。今回の当選

直後、彼に「雌伏三

年、國を思う士決

然と立つ」と詩を送

つたが、持ち前の大

誠実で難局に当たつ

てほしい。



夏みかん並木前に立つ太田氏

青陵街道に夏みかん並木

■夏みかん並木

中学三年、生徒会長の時、大火に見舞われた飯田のまちにが「りんご並木」を作りた。彼の学校を愛する生徒会長た話に感動した太田氏は、飯田まで出かけた。そこで、「りんごにはみかんだ」と青陵街道に夏みかん並木を作ろうと立ち上がった。廃品回収での資金集めも行い、38個の穴を掘って卒業した。(9年3月朝倉川シノボジウム)

その38個の穴に夏みかんの苗が植えられ、代々の生徒会ど地域の皆さんと一緒に育んで来た。この地域で難局に当たつたが、持ち前の大誠実で難局に当たつてほしい。

つた。特に3・11大震災後の東北へも、多くの人に支えていた。胸がいつぱいです」とは、当選時の第一声。

■カツオが揚がっ

た。

その陰に気仙沼漁港で、壊滅的打撃を受けた気仙沼漁港に力揚がつたといふニュースが大きく流れた。

そこで、協の声を受け、とにかく「カツオ、カツオ」と呼んで、その陰に気仙沼漁港で、壊滅的打撃を受けた気仙沼漁港を支援し、水産庁長官をはじめ多くの方に要請を行ない、動いてきました。

以来50年、今年も工事で、今年も101本の夏みかんなると一家で豊橋へ戻り、東田小学校へ転校。家の前が青陵街道で、まだ舗装がない砂利道で野球をやつて遊んだという。

「中学校時代には、政治家が新聞記者になろうと思つてい

た」という。

■新城市から豊橋へ

太田氏は昭和20年、疎開していた新城市で生まれた。新城小学校に4年生まで通つた。5年生になると一家で豊橋へ移る。その後、東田小学校へ転校。家の前が青陵街道で、まだ舗装がない砂利道で野球をやつて遊んだという。

その詩は、東田小の青陵街道沿いの法面に掲示されている。